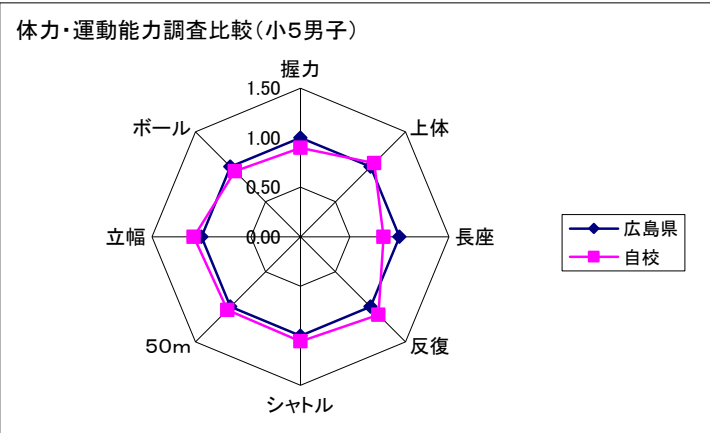
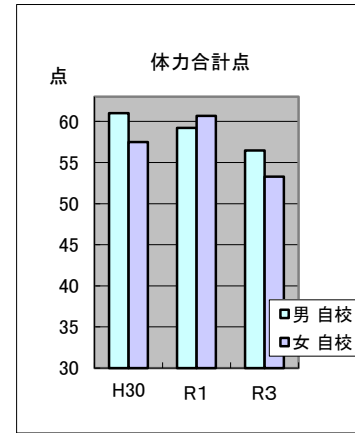
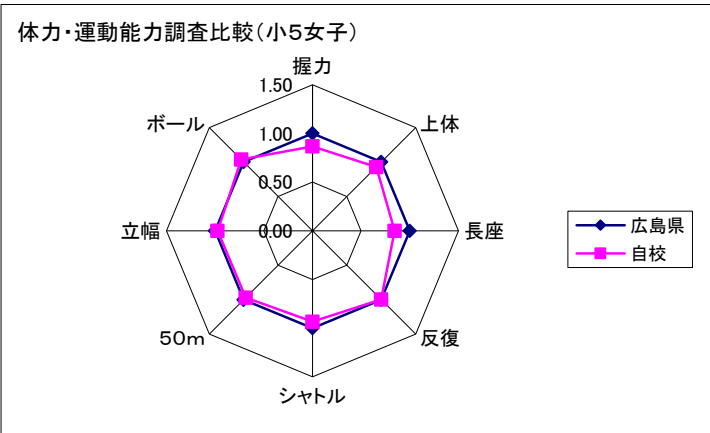


男子の体力合計点 学校 56.46点 県平均 55.16点



女子の体力合計点 学校 53.26点 県平均 57.06点



R3体力・運動能力調査の結果と分析

結果と分析 (全学年の状況も踏まえて記入すること)

① 50m走(呉市の課題種目)
 ・全国平均を男子は0.26秒上回り, 女子は0.35秒下回った。特に女子の記録が低下している。
 ・体育科で、「くれチャレンジマッチスタジアム」のダッシュリレーに取り組んだ成果が現れている。女子の方が外で遊ぶ機会が減っていると思われる。

②ソフトボール投げ(中学校区の課題種目)
 ・全国平均を男子は1.66m下回り, 女子は0.62m上回った。
 ・男女ともに2極化が進んでおり, 経験の少ない児童のボールを投げる回数を増やす必要がある。

③長座体前屈(自校の課題種目)
 ・全国平均を男子は5.24cm, 女子は7.58cm下回り, 男女ともに記録は非常に低下している。
 ・コロナ禍において, 運動する機会が減った結果, 柔軟性が低下していると思われる。

課題解決のための今後の取組及び数値目標

①呉市の課題種目 (50m走)	具体的な取組内容 ・「くれチャレンジマッチスタジアム」の「走の運動」の種目に継続的に取り組む。他校との記録や順位を比較しながら意欲付けをしていく。 ・適宜, 児童の気づきを大切にしながら, 短距離走のポイントを指導する。
②中学校区の課題種目 (ソフトボール投げ)	具体的な取組内容(中学校区で1つ以上共通の取組を設定) ・「くれチャレンジマッチスタジアム」の「シャトルスロー・リレー」に取り組む, 投球動作の基本技能の習得を図っていく。 ・体育科の授業が運動場である場合は, 始めにボール投げ運動を行う。
③自校の課題種目 (長座体前屈)	具体的な取組内容 ・朝の会において, 柔軟運動に取り組む。 ・学校で, 児童同士が接触する運動が難しいことから家庭にも協力してもらい, 柔軟運動に取り組む。 ・児童同士が接触しなくてもできる「体ほぐし運動」の職員研修を行う。

※具体的な数値目標(記録の伸びを数値化)